

WAM 助成事業の一環として10月に始まった『授産品バザー』も、「ゆめ広場」と「九州女子大学学園祭」とで計3回を開催することができました。

今回は主にバザーの事前準備と終了後の作業について書いてみようと思います。

バザー前日までにする作業としては、事務局に届いた約1500点にも及ぶ授産品の数量の確認と、その授産品に手書きの「値札シール」をつけるというものです。小さな品物もあり、授産品の全てにこれをつけるのはかなりの時間を要しますが、バザー終了後の検品・金額のチェックがスムーズにできることを思えば避けられない作業といえます。10月のバザーでは初回だったこともあり、品物も多かったため「値札シール」つけが終わったのは深夜に近い時間でした。

バザー当日は、開始時間の2時間前に集合して、授産品をゆめ広場へ移送し、当日持ち込まれた品物に値札シールを貼り、棚やテーブルに品物を展示するという作業を皆で手分けして行います。

バザー終了後は、各施設ごとに品物を仕分けして、残った品物を検品・売上表と照らし合わせての金額の精算等を行います。この作業は当日中には終わらず翌日までかかることもあります。

このバザーを通じて、施設の方々とも交流ができたことは嬉しいことです。バザー当日一緒に販売を手伝ってくださる方もいて楽しい交流の輪が広がっています。

来年3月までは、毎月第3土曜日の11:00~16:00まで「ゆめ広場」にて『授産品バザー』を開催します。障害のある方が心を込めて作ったパン・クッキー・アクセサリー・草木染・リサイクル石鹸・カレンダー・木工製品・クリスマス、正月飾り等々は、どれも素晴らしいものばかりです。

ぜひ一度手に取って見ていただけませんか。たくさんの方のご来店をお待ちしています。

また、販売等を手伝っていただけるボランティアの方も募集していますのでよろしくお願いします。

(F.S)

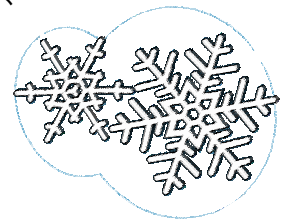
冬の風物詩・折尾イルミネーション

今年も、イルミネーションの時期がやってきました。

本来、折尾駅舎などの取り壊し予定が今秋でしたので、今年は見ることができないはずのイルミネーションでしたが、取り壊しが来年の秋に1年延期されましたので、思いがけず、今年も見ることができました。

しかし、折尾駅舎のイルミネーションは、昨年の点灯機のトラブルで、もう見ることはできません。

しかし、折尾駅舎前のロータリーや、学園大通りのイルミネーションはカラフルに彩られ、立ち退きで暗くなった街や、行きかう人たちを明るく照らしてくれています。



点灯時間は、17時半~24時、22年1月15日(金)までです。駅舎のある駅前広場は、本当に今年が最後のイルミネーションです。折尾駅舎と共に、心にこの景色をやきつけてください！！

お問合せ：折尾をイルミネーションで飾る実行委員会(折尾商連内)

TEL：093-691-1462